

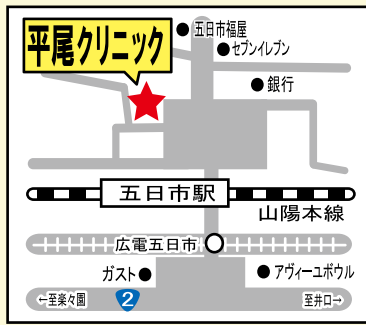
# 連携医院のご紹介



平尾院長

## 医療法人 昇平尾クリニック

〒731-5125  
広島市佐伯区五日市駅前1丁目11-39  
電話/082-921-3161  
院長/平尾 健  
診療科/整形外科・リハビリテーション科・小児科・内科・アレルギー科



今回は、患者さんの真のニーズをしっかりと共有するとともに、近隣の住宅団地の高齢化に対応し、有床でリハビリ機能や訪問診療の運営に取り組んでおられる 平尾クリニックの平尾 健先生です。

### ○開業の時期と開業されてから今までのことを教えてください。

昭和 24 年に祖父が開業した診療所の三代目として、平成 18 年から勤務しています。直前まで県病院整形外科に在籍していました。平成 23 年の院長就任後、医療法人化にも取り組みました。建物の老朽化に伴い新築に取り掛かり、外構も含め今夏に完成いたしました。JR 駅から雨に濡れずに入館できるのが特徴です。MRI を設備しデイケアを開始し、スタッフも充実させ常勤医は 3 名となりました。

### ○医院の特徴について教えてください。

当院は有床診療所で、整形外科患者さんの内科的合併症にも対応します。年に数例看取りも行います。

### ○毎日の診療で大切にされていることは何ですか。

患者さんの目線に立って話を聞き、問題点を理解し、不安を解消するよう努めています。医療は思いやりであることを常に心掛けています。

### ○開業医のやりがいは何ですか。

勤務医には勤務医の楽しさ、

開業医には開業医の面白さがあります。語弊がある言い方もかもしれませんが、全人的な医療を提供できるところが開業医の面白さです。

### ○県病院はどんなところですか。

県病院には適材適所にエキスパートが配置され、自分の役割は明確でした。他では経験できないほどの数多くの症例が集まり、私は骨・軟部腫瘍に対する専門治療に取り組みさせていただき、自分の知見を深めたことは良い経験でした。



平尾クリニック外観

シュロの木

#### 【取材後記】

敷地内で五日市の変遷を見守り続けてきたシュロの木のように、時代ごとの医療ニーズの変化に対応すること等を通じて、地域にしっかりと根ざしておられる診療所と感じました。

## 県立広島病院からのお知らせ

### 緩和ケア 看護師研修スキルアップ研修

- 開催日 平成29年1月18日(水)・19日(木)の2日間
- 時間 9:00~16:30
- 場所 新東棟2階 総合研修室
- 申込期間 平成28年12月6日(火)~20日(火)必着
- 参加費 5,000円(資料代)
- 対象 次の①②③④⑤のいずれかと、⑥の要件を満たす者
  - ①平成12年度から平成15年度に広島県看護協会が実施した「緩和ケアナース育成研修」の修了者
  - ②平成16年度から平成18年度に緩和ケア支援センターが実施した「緩和ケアナース育成研修(専門コース)」の修了者
  - ③平成19年度から平成24年度の緩和ケア看護師研修(中級コース)の修了者
  - ④平成25年度から平成28年度緩和ケア看護師研修(実践コース)の修了者
  - ⑤緩和ケアに関する専門看護師、認定看護師(選考あり)
  - ⑥全課程(2日間)をすべて出席できる者

問合せ先 広島県緩和ケア支援センター 緩和ケア支援室  
※詳細は「広島がんネット」ホームページでご確認ください。  
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gan-net/>

### クリスマスコンサート

平成28年12月22日(木) 14:00~  
★ 中央棟1階 中央玄関ホール  
★ どなたでも自由にご鑑賞いただけます。

### 年末年始 休診のお知らせ

年末年始の外来診療につきまして、次の通りとさせていただきます。皆様には大変ご不便をおかけしますが、よろしくお願ひ申し上げます。

2016 12月	28日(水)	平常通り
	29日(木)	休診
	30日(金)	
	31日(土)	
2017 1月	1日(日)	平常通り
	2日(月)	
	3日(火)	
	4日(水)	

# もみじ

県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページへ掲載しています。  
県立広島病院で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)



理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします



専門診療医による得意治療を紹介いたします。

## 特発性肺線維症

Idiopathic Pulmonary Fibrosis

呼吸器内科

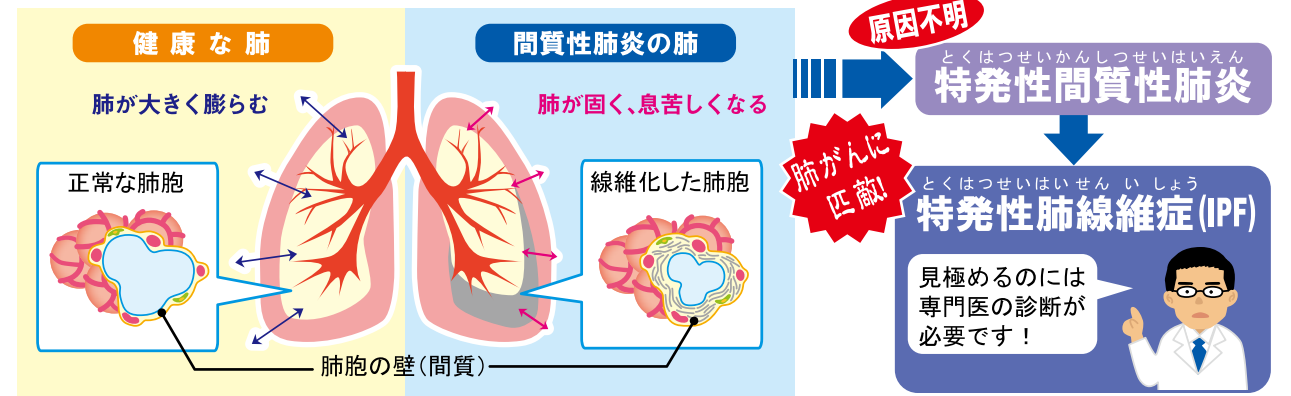


呼吸器内科部長  
石川 暢久

### ■特発性肺線維症とは

特発性肺線維症 (IPF) とは原因がわからない肺の高度な線維化をきたすのが特徴の病気です。肺胞の壁 (間質) に線維化がおこると、肺が固くなり、十分に膨らみにくくなるために、呼吸が上手くできなくなります。これが間質性肺炎で、感染症による通常の細菌性肺炎とは治療法が大きく異なるために区別されています。

間質性肺炎のなかでも原因が不明なものは特発性間質性肺炎と呼ばれており、国の難病に指定されています。その中で最も多いのが特発性肺線維症で、呼吸器疾患のなかでは肺がん匹敵する完全に治ることが難しい病気です。



### ■特発性肺線維症の症状

特発性肺線維症の初期症状は、空咳 (痰のない咳)、からだを動かしたときの息切れです。症状が進行すれば、着替えや入浴などの少しの動作でも息切れができるようになります。指の先が、太鼓のばち状に太くなる「ばち指」が認められる場合もあります。



### 呼吸器外来

上記のような症状がありましたら、かかりつけ医に相談の上、紹介予約をお願いします。

次頁に続きます→

### ■特発性肺線維症の検査と診断

特発性肺線維症は他の特発性間質性肺炎と経過や治療法がことなるために、特発性肺線維症とその他の特発性間質性肺炎を区別することが大切です。特発性肺線維症の診断には、詳しい問診や身体所見を取った後に、胸部X線写真、呼吸機能検査、血液検査(KL-6など)、HRCT(高分解能CT)などの検査を行います。特発性肺線維症に典型的な臨床所見が認められなかった場合には、気管支鏡検査や外科的肺生検の適応を検討します。



【HRCT 写真】

特発性肺線維症の検査と診断は呼吸器内科医、呼吸器外科医、リウマチ科医、画像診断医、病理医による緊密な連携が重要であるために当院のような専門施設で行うことが好ましいとされております。

#### HRCTにおける特発性肺線維症の特徴

- ・胸膜直下、肺底部優位
- ・網状影
- ・蜂巣肺(牽引性気管支拡張を伴うことも伴わないことも)
- ・特発性肺線維症に合致しない所見をもたないことも

### ■特発性肺線維症の治療

特発性肺線維症は、難治性の病気といわれています。そのため、特発性肺線維症に対する治療の目標は病気の進行を抑え、呼吸の機能を保つことです。

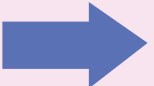
近年では、抗線維化薬が特発性肺線維症の新規治療薬として登場し、その効果が国際的な大規模臨床試験でも証明されております。

抗線維化薬の副作用としては、光線過敏症、消化器症状、肝障害などを認めることがありますが、抗線維化薬の減量、対症療法などでほとんどの症例では治療の継続が可能です。当院では特発性肺線維症に対しては、積極的に抗線維化薬を用いることにより、治療成績を向上させるように心がけております。

#### ◎特発性肺線維症の治療のパラダイムシフト：抗炎症薬から抗線維化薬へ

#### 抗炎症薬

- ・ステロイド
- ・免疫抑制剤



#### 抗線維化薬

- ・ピルフェニドン
- ・ニンテダニブ

原因不明の慢性労作性呼吸困難、<sup>がいそ</sup>咳嗽、<sup>ねんぱつ</sup>吸気時の捻髪音、ばち状指などの特発性肺線維症を示唆する徴候および症状を認める症例は気軽にご紹介していただければ、適切な治療を開始したいと思います。

### ご意見箱

#### 県病院の駐車場について

身内が長期入院しているので、県病院の駐車料金がなくて大変です。

- 駐車場料金は広島市内の同規模病院との均衡等を考慮して設定しています。
- お見舞いの場合は30分(休日は45分)無料です。
- 患者さん本人の通院、入退院当日、手術立会など医師の要請により来院された場合は無料です。
- 当院では駐車場が不足しているため、イオン宇品店のご協力を得て、当院利用者の無料駐車を認めて頂いており、イオン宇品店から当院までは無料送迎バスを運行しておりますので、是非ご利用ください。



無料送迎バス：平日 8:30 ~ 15:30 間 15分間隔 (12:20 ~ 13:20の間を除く)

県立広島病院 無料送迎バス 運行開始!

御幸橋バス停付近から送迎いたします。(送迎時間約5分)

送迎バス時刻表	目的地	運行経路	
8:30	8:40	8:45	8:50
8:50	9:00	9:05	9:10
9:05	9:15	9:20	9:25
9:25	9:35	9:40	9:45
9:45	9:55	10:00	10:05
10:05	10:15	10:20	10:25
10:25	10:35	10:40	10:45
10:45	10:55	11:00	11:05
11:05	11:15	11:20	11:25
11:25	11:35	11:40	11:45
11:45	11:55	12:00	12:05
12:05	12:15	12:20	12:25
12:25	12:35	12:40	12:45
12:45	12:55	13:00	13:05
13:05	13:15	13:20	13:25
13:25	13:35	13:40	13:45
13:45	13:55	14:00	14:05
14:05	14:15	14:20	14:25
14:25	14:35	14:40	14:45
14:45	14:55	15:00	15:05
15:05	15:15	15:20	15:25
15:25	15:30		

時刻表は院内にあります

# 外科医の独り言...no.63

### — 絶滅危惧種 —

最近、研修医に最も人気がない科の1つは外科のようです。若い外科医が不足しています。全国的に外科医の平均年齢が高くなり、このまま行くと外科医が絶滅危惧種に指定されて、手術待ち1年という時代が来るかもしれません。産婦人科医や小児科医が不足していることはマスコミでも取り上げられて皆さんも御承知かと思いますが、外科医が不足していることはあまり伝えられていません。私が外科医になった1980年代は、毎年医学部を卒業する8,000人のうち2,000人が外科医になっていました。それから徐々に減っていき2000年には1,000人を切り、2007年には800人を切り、当時の外科学会では、このペースで少なくなると2018年には新しく外科医になる医師はゼロになると予測していたほどです。さすがにそれは無いと思っていましたが、最近少し盛り返したようです。

さて、今なぜ外科医の人気がないのでしょうか？確かに私が外科医になった頃は、大きな手術があると何日も家に帰れない、一人前の外科医になるためには少なくとも10年以上かかり、先輩医師から懇切丁寧に手術を覚えてもらえるわけでもなく、ただ「見て覚えろ」の世界、教授をピラミッドの頂点とするまさに徒弟制度、封建社会でした。あまりにもつらくて外科をやめる人も数人いましたが、私自身は中学生のころから「ブラックジャック」に憧れ、外科医となることを決めており、またきつのが当たり前と思っていたので全くつらいとは思いませんでした。当時は、医学生を外科に勧誘するために先輩達は、実習に回ってくる学生の中から体力のありそうな学生を見つけては夜、飲みを誘って、「君は外科のセンスがある」「良い外科医になる」と褒め殺し、酔っぱらった学生は「はい、入ります」といとも簡単に快諾していました。ましてやクラブの先輩から勧誘されると、それまで散々おごってもらっているので断れる

はずありません。実習で回った時に教授から昼食に誘われ、特上うな重を食べさせてもらい、その場で「入ります」と即答した人達もおり、後に教授の「うな重一本釣り」というので有名になっていました。

ところが2004年に医師臨床研修制度が始まって様相が一変しました。この年から研修医は2年間をかけて色々な診療科を回って研修し、それから自分の進む道を決めることになったのです。したがって、最初は外科に入りたいと思っていても、色々な科を回るにつれて、この科もいい、こちらの方が自分に向いている、やっぱり外科はしんどそうだな、ということに気づいてしまうのです。それでも昔と同じように脈のありそうな研修医を飲み連れに行っても「外科の魅力」を話して勧誘するのですが、やはり「きつい」「厳しい」「汚い」という3Kのイメージが拭えないのか上手くいきません。ここで断っておきますが、外科に「きつい」「厳しい」があることは否定しません。したがって、外科の若い人たちには、いつも研修医の前では、「きつくて平然としていなさい」と言っています。ひょっとしたら、その顔が引きつって余計にきつそうに見えるのかもしれませんが、きついことを経験しなければ成長もないことは事実です。一方、3Kのうち「汚い」というイメージはどこから来たのか良くわかりません。

肝臓の手術は、出血することは時々ありますがきれいな手術です。ひょっとして「うんち」が絡む大腸の手術から来たイメージなのでしょうか？

手袋をしているから大丈夫なんですけどね。

副院長(消化器・乳腺・移植外科主任部長) 板本 敏行(いたもととしゆき)



### RCC放送 年末特番

### に当院が紹介されます!



カンファレンスの様子

今年12月29日(木)にRCCテレビで、年末特番『命をつなぐ～デーモン閣下が見た広島「がん対策」～』で、がん診療連携拠点病院である当院の取り組みを取材した番組が放送される予定です。ぜひ、ご覧ください。

広島県民の死亡原因の第1位に挙げられる「がん」は、高齢化の影響により、罹患率、死亡率とも増加傾向にあります。広島県では8年前から『がん対策日本一』を目指した取り組みを行っています。この番組では自分にも家族にも起こりうる身近な問題として、「がん」を克服した人たちの証言と、「がん」に立ち向かい早期に予測、治療するドクターたちの熱い思いを紹介します。

※都合により放送内容が変わることがありますので予めご了承下さい。

RCC年末特番  
命をつなぐ  
～デーモン閣下が見た広島「がん対策」～  
12月29日(木)  
午前9:55～10:25